

国際協力海外レポート

池田 枝里 (いけだ えり)【JICA 青年海外協力隊】

赴任地：パナマ共和国 エレラ県チトレ市
職種：小学校教育
赴任期間：2014年9月～2016年9月（予定）



明石市役所にて、
赴任の決意を語る池田さん

みなさん、初めまして。青年海外協力隊26年度2次隊・小学校教育でパナマに派遣された池田枝里です。



パナマ共和国国旗



○パナマと言えば？

こちらに来て半年が過ぎました。さてパナマと言えば何をイメージされますか？やはりパナマ運河ではないでしょうか。ここでは任地の生活ぶりを含め、パナマのことをもっと知って頂けたらいいなと思っています。パナマは中南米に位置しており、西はコスタリカ、東はコロンビアと国境を接し、北はカリブ海、南は太平洋に面しています。面積7万5,717km²（北海道よりちょっと小さい）、人口332万人、言語はスペイン語。通貨はドルが流通しており、硬貨に限ってはバルボアというパナマ独自の通貨も使われています。

○開通100周年を迎えたパナマ運河

1914年に完成したパナマ運河は、太平洋とカリブ海を南北につなぐ、全長約80kmの閘門（こうもん）式運河です。3段階の閘門を設けることにより、船の水位を上下させて通航させる方式を採用しています。現在拡張工事を進めており、2016年完成予定で、幅49m、長さ366mの船舶が通航できるようになります。



大型船が通過する様子が見学できるミラフローレス水門

○首都パナマシティ

パナマは今経済成長が著しく建設ラッシュであり、特に首都では開発途上国とは思えない高層ビルの数々に圧倒されました。また中米では初となる地下鉄も通っており、今後は首都への通勤ラッシュを緩和させるために新たな地下鉄の建設を予定しています。



○パナマ料理って？

主食は日本と同じで米です。親戚が集まってご馳走を作る時は主にトウモロコシを練り、揚げたり、ゆでたり蒸したりして食べます。

サンコーチョ



骨付き雌鶏肉、イモなどが入った塩味スープ。

アロース コン ポジョ (左)



鶏肉炒飯のような料理。
右はポテトサラダ。

タマール



トウモロコシの粉を練って、中に肉などを入れ、バナナの葉で蒸した料理。

○民族衣装

サンブラス諸島に住む先住民クナ族の女性が作る「モラ」という伝統衣装が有名です。何重にも重ねた布にアップリケや刺繍などの技術を凝らし、芸術的な独自の柄を作りあげています。図案は鳥や魚、花やヤシの木、虹などの島の自然や彼らの生活を題材にしたものなど多くあります。



ポジェラ



クナ族の”モラ”



○任地の生活で困っていること?!

首都から西に250kmのエレラ県チトレ市というところで生活しており、ホームステイですが自炊という環境のため、積極的に日本食を作るようにし家族と共有しています。自分自身もパナマ食の作り方を教えてもらうことでパナマの文化を知る機会にもなっています。

家から学校までは5kmほどバスで通っています。料金は0.25、タクシーだと2ドルとかなり安いです。パナマ人は近くでもタクシーを使うので、バスの路線をあまり把握しておらず、来てすぐの頃に間違えて教えられ、迷子になりかけました(笑)

中南米ということもあり、ラテン系の陽気な人々が多い印象です。町でのすれ違い時やローカルのバス乗車時など知らない人でも気軽にあいさつをしたり、話したりすることもあります。

困っていること?!と言えば、町を歩くと必ず「チニータ」「中国人」と呼ばれます。なぜかという中南米では多くの中国人が住んでいるからです。日本人は珍しいので「ソイ ハポネス」「私は日本人よ」と言い返すこともしばしばです。



コロッケ作りに挑戦中のホストマザー!!



私のお気に入りバターコーン!!
(こちらのバナナを揚げてつぶしてまた揚げます)

○配属先の学校

2部制で午前は7時10分から3.4.5.6年生&年長、午後は12時40分から1.2年生&年少で、授業はそれぞれ40分×7コマ、休憩は間に15分のおやつタイムがあるだけです。

公立校なのに各教室は冷房完備な上に、1クラス25~29人なので、日本の1クラス最大40人に比べると羨ましい環境です。子どもたちはとても人懐っこくて「日本語で何ていうの?」と質問攻めにあうこともしばしばです。本格的な活動はまだまだこれからで、活動先の実態にあった算数の教材の作り方や使い方を広めていき、現地の先生を巻き込んで楽しい授業を作っていきたいです。



2015/4/9 JICA 青年海外協力隊 池田 枝里